

「評価からはじめるまちづくり！2008」（第1グループ）

施策名	地域をリードする医療体制の確立		
対象	市民	成果指標	市民アンケート「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合
意図	適切な医療が受けられる		

グループワーク

理由など	市民の評価
<p>救急</p> <p>重症・軽症の選別先(救急車)</p> <p>救急車を適切に利用できるように(タクシー代わりに使わない)</p> <p>高次救急(医大)が移転した後が心配(今はいつでも受診でき助かっている)</p> <p>分らない...</p> <p>相談窓口の明確化</p> <p>「かかりつけ医の必要性のPRについて、月別、夜間急患診療所、休日当番医にかかった患者数</p> <p>新聞、タウン誌だけでなく、市に電話すれば住んでいる所の近くの病院を紹介してくれる。</p> <p>市民が必要とする診療科を把握する(市の補助先とマッチしているか)</p> <p>市立病院</p> <p>健診項目(対応診療科)の幅広さをアピール</p> <p>自由に病院に通える状態を作る(公共交通機関など)</p> <p>通院している病院が19時まで受付してくれるので助かっている。仕事が終わってからもしける病院が増えれば良いと思う。</p> <p>卵を育てる</p> <p>医学生をもっと育てる(地域に根づく医師を確保する)</p> <p>学校との連携(看護学校とか)</p> <p>予防</p> <p>住民にも健康に気をつけてもらい、すぐ病院にかからない心がけをする。</p> <p>小児科患者の増加に対する予防策はどれくらいあるか？</p> <p>医師も健康的な生活を送れるような体制作りをする。</p>	<p>4</p> <p>はないだろう...</p> <p>市の評価</p> <p>4</p>

グループワーク

効果	成果指標及び課題
	<p>家庭医の普及</p> <p>かかりつけ医と救急病院の役割分担を知っている市民の数</p> <p>盛岡市が行っている「夜間急患診療所」について知っているか。</p> <p>医療機関の役割分担を知らせる</p> <p>市立・県立の枠を超えた病院自体の設備や医師のレベルの均等化</p> <p>身近な病院を知らせる</p> <p>住んでいる近くに病院があることを知らない人のために回覧板等で知らせる。</p> <p>病院マップを作成し、周辺の医療機関を周知。</p> <p>市立病院の魅力アップ</p> <p>市立病院を起点に市独自の医療体制をつくる(徐々に周りの病院に波及するように)</p> <p>救急車の使い方</p> <p>「救急車が適切に利用されていないことがある」という問題について聞いたことがあるか。</p> <p>救急車の利用件数全体に占める適正な利用件数の割合</p> <p>軽症の救急利用や、頻回受診者に対するペナルティ(追加料金の設置)</p> <p>救急医療を安定して継続できている病院の数</p> <p>地域の医者が増える</p> <p>地域に就職した医師の数</p> <p>岩手出身の医師の地元での就職に対する優遇措置</p> <p>市立病院の利便性の確保</p> <p>市立病院に魅力的な診療科があると答えた市民の数</p> <p>相談&予防</p> <p>普段から健康であることを心がけているか。健康のためにやっていることがあるか。</p> <p>「体調不良を相談できる人がいる」と答えた人の割合</p> <p>市民健診の機会を活用した相談窓口の周知(PR方法の工夫)</p>

グループワークの～の数字は、施策の現状や課題から参加者自身が施策の成果水準を5段階評価した数字です。

「評価からはじめるまちづくり！2008」（第2グループ）

施策名	地域をリードする医療体制の確立		
対象	市民	成果指標	市民アンケート「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合
意図	適切な医療が受けられる		

グループワーク

理由など	市民の評価
<p>医療サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 検診や人間ドックの予約が混雑して取りにくい。 総合病院が混んでいて、待ち時間が長い。 医療施設内での対応がよい。 <p>身の回り</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの病院が市内にある。 病床数 地域内の医療設備状況 <p>医療の制度</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立病院に小児科をとりもどしてほしい 歯科医がさまざまで歯周病の対応が不満であった。内科医が良薬をくれたので。 医師数不足原因(学費) 医師数の減 勤務医への対応がきびしい。 <p>情報(不足)</p> <ul style="list-style-type: none"> 休日日などよくわからない。 	4
<p>利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> 近くに多くの診療科がない。 救急車が10分以内に来る事ができる。 医療機関までの交通の便 総合病院が中心から遠い <p>休日・夜間の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 休日当番を同じ診療科目の病院をふやしてほしい。 夜間診療所の駐車場をふやしてほしい！ 夜間医療への対応(相談窓口) 休日当番医が近くにある。 <p>医療施策</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立病院の二次救急の位置付け不明確 二次医療 高次医療 	市の評価
	4

グループワーク

効果	成果指標及び課題
	<p>地域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 当番医の地図や市内の病院の所在を地図に表して広報と共に配付して欲しい 自己管理の中で、緊急時に連携して連絡しあって助け合える人間関係をつくること 何でも相談できる、話せる、寄り添ってくれる医者がいる。(地域に根ざした医療) 二次救急の充実 開業医と高次救急など相談できる窓口が必要ではないか <p>医療現場の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院のベッド数 各病院に医者が足りているかアンケートする 医学部の学生にアンケート「岩手県(盛岡市)に就職したい」と回答した学生の数 医療機関で働く人自身が安心して働ける環境か。働きやすさ。 <p>市民の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜間、休日に安心して通院できる体制 自宅に救急車を呼んだ場合の到着時間を把握しているか 総合病院までの交通の便の満足度調査 「ここに行けば大丈夫、場所が分かる。」 市内にある医療設備を5つ以上言えるかどうか どの科(内科とか)が待ち時間がどのくらい長い、どの年齢層とも。 夜間診療を行っている病院の割合 利用する病院の休日などが把握できているか 市民アンケート「医療機関の対応に満足している」と回答した割合 近くの病院までの交通機関は確保できているか <p>予防医学の啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間ドックの受診率 健康に暮らすための健康講座があれば出席したい。 講習会の開催回数、参加者数 市立病院の健康保険料が高いと思う。予防医学の勉強会が必要ではないのか 予防に興味を持ってもらう啓発活動

グループワークの～の数字は、施策の現状や課題から参加者自身が施策の成果水準を5段階評価した数字です。

'評価からはじめるまちづくり！2008' (第3グループ)

施策名	快適な情報ネットワークの実現		
対象	市民	成果指標	市民アンケート調査「携帯電話を利用している」と答えた市民の割合 市民アンケート調査「家庭でインターネットを利用している」と答えた市民の割合
意図	情報の交流が確保される		

グループワーク

理由など	市民の評価
<p>不便 (p' q)</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の環境を良くしようとするとお金がかかる 大学内で携帯電話電波が良くないところ 情報に対する興味があまり無いのではないのか 個人で利用するとなると不便な点もある 漢字が書けなくなる パソコンを操作していると時間が経つのが早い。(忙しい人にはきびしい) メール 微妙な交渉や込み入った話の時は対面が必要 トラブル(操作上の)などがあると自分で対応できない 	2
<p>高齢者の利用 (p' q)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の方などがITを求めているか不確かである 高齢者などは敬遠している 食わず嫌い 逆に高齢化すれば、ネットで社会とつながれる 	
<p>公共の役割 (p' q)</p> <ul style="list-style-type: none"> すでに利用している人に対して、どう使って欲しいのか、使い方などを提案するほうが良い 成果指標B 利用者数(実数)を表示したほうが良い 市のホームページを使いやすくする SNSの利用 市民の認知があるか？市として必要か？ 公共端末の少なさ、あるのを知らなかった 山間部とはどこか？ブロードバンド利用可能な地図を作るほうがわかりやすい インターネットの利用方法についてアンケートをとるほうが良い 情報インフラの整備が行政や医療・福祉のサービスに効果的に活かされていないのでは 市役所からの情報発信をもっとするほうが良い 病院などの場所を詳しくのせればよいのではないか 	4
<p>便利・楽しい (p' q)</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットの利用のしやすさ その気になれば多くの人とつながることができる 家にいても買い物ができる 山間地域の人の居住場所をかえる メール 時間が短縮できる インターネットにつなぎやすい 携帯電話の利用のしやすさ 	

グループワーク

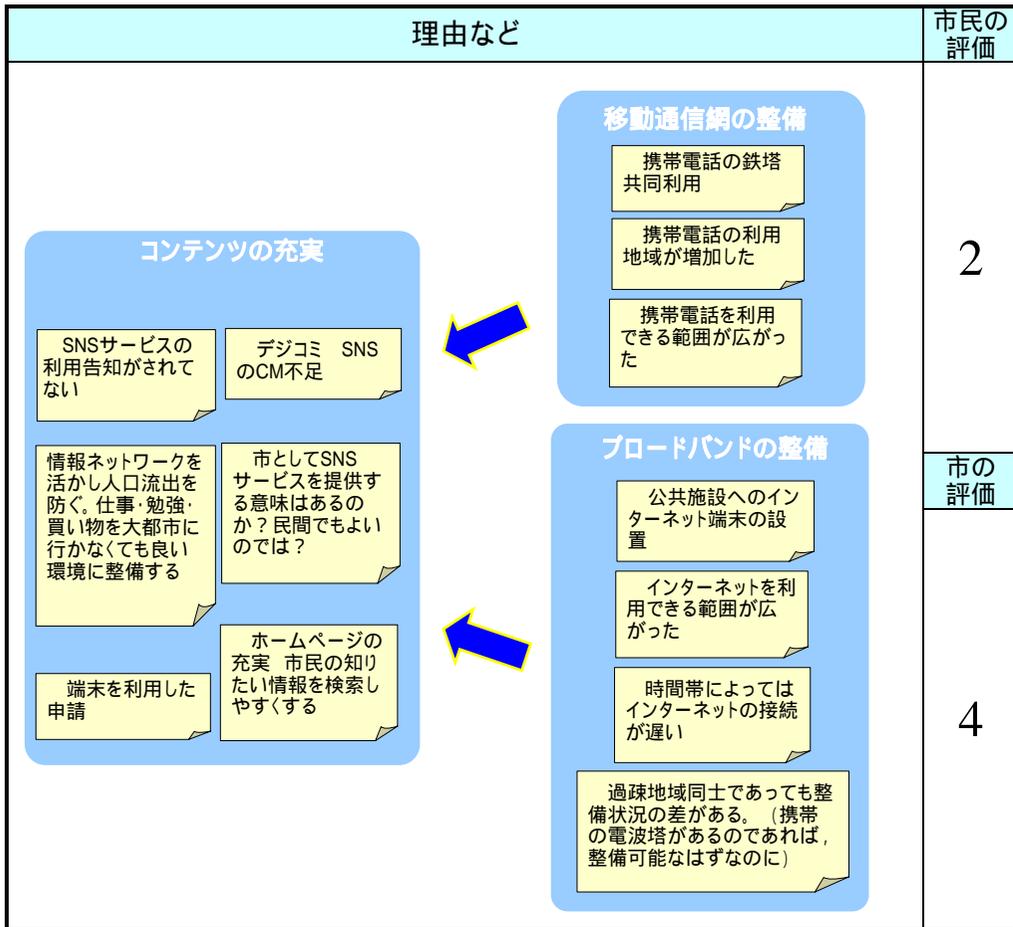
成果指標及び課題
<p>step1 ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の方々がITなど興味があると答えた人の割合 インターネットを利用する環境を聞く 家庭、職場、学校 世代ごと PCか携帯か インターネットから何を知りたいか？ ニュース、市内のイベントなど、政策 世代ごとに情報ネットワークに興味がある人の割合を出す 高齢者は何を知りたいかアンケートをとる
<p>step2 ハード整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話会社のエリアカバー率 公共の場所でのインターネット利用率 地域の電波の状況(電波の入り具合) 携帯電話の使用場所 <p>使い方の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 市のホームページで何を提案できるか考える
<p>step3 成果の測定</p> <ul style="list-style-type: none"> 市のホームページの利用のしやすさを民間の機関で調べてもらう アンケート「情報機器の利用で生活が便利になっていると感じる」と答えた割合 アンケート「回線さえつなげばインターネットが利用できる環境にある」と答えた市民の割合 インターネットが利用しやすいと答えた高齢者の割合 市から発信されている情報に充分満足しているという人の割合 アンケート「通信をしていて不便を感じたことがある」と答えた市民の割合 アンケートで市のホームページが利用しやすいと答えた人の割合 アンケート「SNSを使用したことがある」と答えた人の割合 トラブル件数
<p>その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報を集める部署の設置と民間からのチェックを受ける 市の職員が市のホームページをどう見ているか調べる 市民が情報ネットワークにどのくらいお金を使っているか 市長の考えをホームページで出す 市内の情報を集めてホームページを作り直す

グループワーク の 数字は、施策の現状や課題から参加者自身が施策の成果水準を5段階評価した数字です。

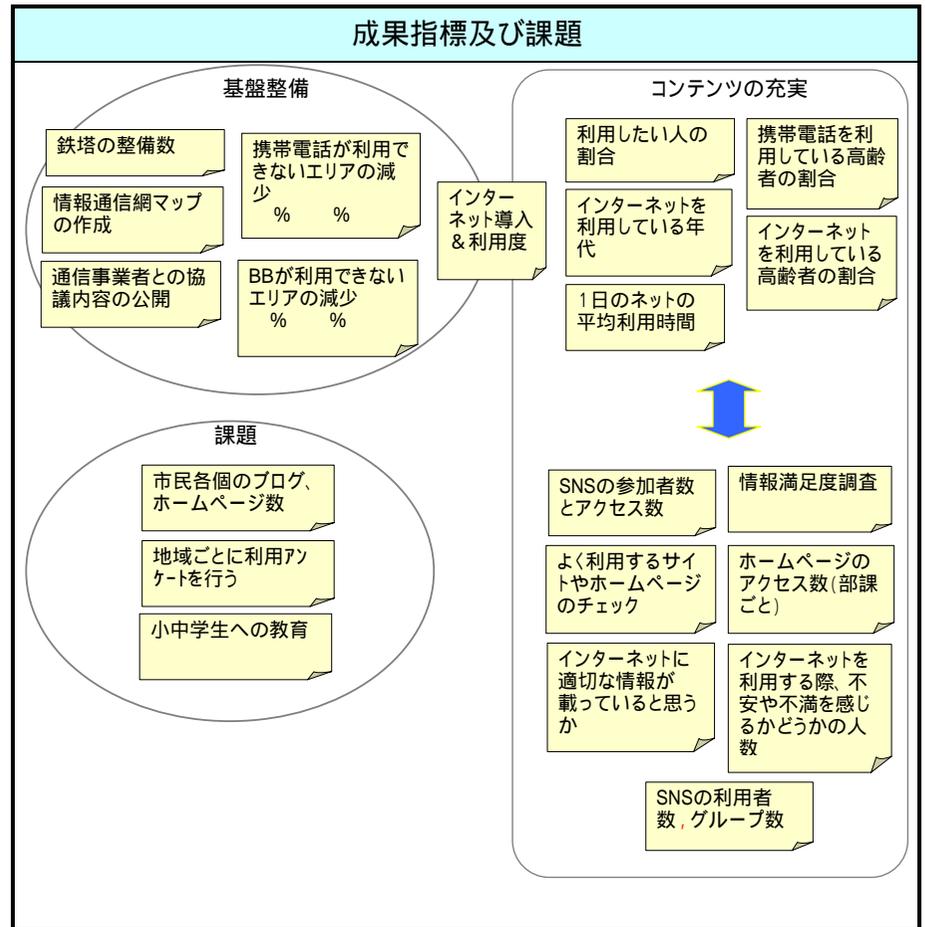
'評価からはじめるまちづくり！2008' (第4グループ)

施策名	快適な情報ネットワークの実現		
対象	市民	成果指標	市民アンケート調査「携帯電話を利用している」と答えた市民の割合 市民アンケート調査「家庭でインターネットを利用している」と答えた市民の割合
意図	情報の交流が確保される		

グループワーク



グループワーク



グループワーク の - の数字は、施策の現状や課題から参加者自身が施策の成果水準を5段階評価した数字です。

'評価からはじめるまちづくり！2008' (第5グループ)

施策名	魅力ある都市景観の形成		
対象	街並み, 山並み, 市民・建築関係者	成果指標	市民アンケート調査 「誇れる景観があると思う」と答えた市民割合
意図	景観に配慮した街並みが形成される		

グループワーク

理由など		市民の評価
自然景観 4.5 山並み 4 開運橋からの岩手山 愛宕山 玉山区の啄木の歌碑 盛岡城跡公園からの岩手山の眺め 飯岡山からの盛岡市街地の眺望のための整備 水辺 5 御所湖 川に沿った道が整備されている 高松の池 中津川沿いの景色 ゴミの投棄 総合 ミドリネット水源の有効利用(農業, ゆとり, 花, 桜並木造り)	歴史景観 4 歴史 4 古い家屋の町並み 盛岡城跡公園の石垣 中央公民館の庭 山田線無人駅 桜山神社界隈 市街地 2 大通商店街の空き店舗 大通など各店舗の旗が乱立 「テナント募集」空き店舗の増加 高層マンションの乱立 居酒屋の乱立 ヤミ金の広告 ボランティアで広告の撤去 総合 街路 3 街路樹 ハンギングバスケットの設置 市街地のコンパクトさ 路上駐車の少なさ(自転車利用) ポイ捨てゴミ 道路幅員の狭さ 騒音 駅西口開発 材木町通のオブジェ 街路樹の整備 メイン道りに自転車大量にある。 コンテナガーデンの設置 官公庁の立地条件 表示(標識)が分かりにくい 「事前運動者」選挙用と政治活動用のポスター乱立, 公共場所付近等, 設置場所枚数の規制を	3.8
		都市景観 2 盛岡らしい景観って何だろう?

グループワーク

効果	成果指標及び課題
数値化できないもの	内側から見た盛岡の景観 近隣山並みの景観を生かした散策路のさらなる開発 住民の参加意識 ・道路清掃... ・玄関を花で... ・コンテナガーデン... 減点方式 ・タバコの... ・ゴミの... ・岩手山の見える... 眺望景観地域の数(維持) 盛岡の都市景観に関するイベントが開催された件数 空き店舗の数 遊歩道の整備状況 展望台などの眺望を楽しめる場の整備状況 岩手のシンボルを生かした活動数(ハンギングバスケットの活動や街路樹を増やす etc...)
	外側から見た盛岡の景観 旅行会社, JRを通じ観光客にアンケート 観光客アンケート「盛岡らしい景観がありましたか?(どこですか?)」 観光客にとったアンケートの好きなところ, 嫌いなところの情報数 転入者, 転出者を対象に市役所でアンケート 100選にノミネートされている件数 全国都市ランキング位以内(例:住みたいまちランキング) 観光スポットで1日100人の観光客の反応 ・青旗:良い ・黄旗:まあまあ ・赤旗:その他 いちおし!! もう一度見てみたい場所があったか! 対象:観光客などの外来者 景観の有無だけでなく, 景観の件数も

グループワーク の ~ の数字は, 施策の現状や課題から参加者自身が施策の成果水準を5段階評価した数字です。

『評価からはじめるまちづくり！2008』（第6グループ）

施策名	魅力ある都市景観の形成		
対象	街並み、山並み、市民・建築関係者	成果指標	市民アンケート「誇れる景観があると思う」と答えた市民の割合
意図	景観に配慮した街並みが形成される		

グループワーク

理由など	市民の評価
<p>歴史物</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史を感じる建築物が少しずつ減ってきている 歴史のある建築物の利用・保存(例:岩手銀行) 盛岡の昔ながらの街並み 古い街灯(青山商店街) 材木町の街路は雰囲気が良い 与の字橋ストーリーのある景色 <p>建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> 高層マンションによる景観 街中に高層マンションが多い 高層建築物増加の不快 <p>自然</p> <ul style="list-style-type: none"> 街中の緑、自然は比較的良好に守られている ハンギングバスケット 街路樹がもっと欲しい <p>電柱</p> <ul style="list-style-type: none"> 電柱にサラ金、闇金等の広告がある 電柱への違反広告物、金融の広告 電線 向中野付近、電柱が乱立 <p>岩手山</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の多くの場所からきれいな岩手山が見える 岩手山の眺めは美しい 開運橋からの岩手山の景観(河川敷の道並みや花壇) <p>川</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の流れの美しさ、共に川に沿った散策路 中津川の景観は四季折々、美しいと思う 中津川を安全に見る 	3
<p>商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> 公衆トイレが汚い(岩手公園など) 大通の人数(週末しかにぎわっていない) シャッターを閉めたままの街並み(八幡町の辺り) ネオン看板の類でセンスが良いと感じるものが少ない 大通商店街に飲食店が多く、ぎらぎらしている 中心市街地にバスや車が多くてゴミゴミした感じがする 中心市街地に空き店舗が目立ってきたような気がする <p>盛南</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛南は都会的だけどオリジナルな感じが無い 買い物ショップの片寄り 大型ショッピングセンターの増加考え方によって or 中途半端なイメージ 整然とした街並み 最近の大型店の低層化 <p>自転車</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫煙所が少ないため(?)歩きタバコ、タバコのポイ捨て 自転車暴走 自転車路の不足 自転車放置 点字ブロック(茶色) 	市の評価 2

グループワーク

効果	成果指標及び課題
	<p>アンケート</p> <p>市民アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート「盛岡市の景観について不満がある」と回答した割合 市民アンケート「盛岡を巡るツアーを企画することができる」と回答した割合 市民アンケート「お気に入りの景色がある」と回答した市民の割合 市民アンケート「住民の生活態度(マナー)は良好である」と回答した割合 市民アンケート「生活環境面(交通、街並み)に満足している」と回答した割合 <p>城下町風の匂いを残してほしい。 市民アンケート「城下町風の匂いが残っている」と回答した割合</p> <p>市民アンケート「誇れる景観が増えていると思う」と回答した市民の割合</p> <p>市民アンケート「誇れる自然環境の景観があると思う」「誇れる中心市街地の景観があると思う」「誇れる郊外の景観があると思う」と回答した割合(現指標を複数に分類してアンケート)</p> <p>市民以外へのアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客アンケート「他の都市と比較して魅力ある都市景観が形成されている」と回答した観光客の割合 他市町村住民・他市町村(行政機関)へのアンケート <p>数値を把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的保存物の整備認定数(率) 川沿いの護岸はあまり近代化せず残したい。コンクリート化された護岸の距離の割合 中心市街地における電線地中化の割合 岩山、白滝、タタラ山等の景観はPR不足。観光客数(訪問者数) 中心市街地の歩行者の数(歩行者の数も景観と捉える) (中心市街地における)高層建築物の割合

グループワークの～の数字は、施策の現状や課題から参加者自身が施策の成果水準を5段階評価した数字です。